

チャレンジする農業を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	あomorishi よしのだエー 青森県青森市 吉野田 A			
協定面積 14.2ha	田	畑(100%)	草地	採草放牧地
	-	りんご・くり	-	-
交付金額 50.3万円	個人配分			50%
	共同取組活動分 (50%)	担当者活動経費		8%
		農道等の維持管理費		40%
		体制整備に要する経費		2%
協定参加者	農業者10人(うち集落外:周辺市町村5名)			

2. 集落マスタープラン及び農用地保全マップの概要

当集落は、りんごの生産が中心に、青森県特別栽培農産物の認証やエコファーマーの取得による安全・安心な農業生産に取り組んでいる。また、福井県民生協会を対象としたりんごオーナー制度を実施しており、消費者との交流活動も活発に行われている。

今後は、農業を牽引する若い担い手の育成や、耕作放棄地を復旧し、クリなどの新規作物を導入し、りんご以外の付加価値の高い農産物の生産に取り組み、集落の活性化を図り、チャレンジする農業を目指すこととしている。

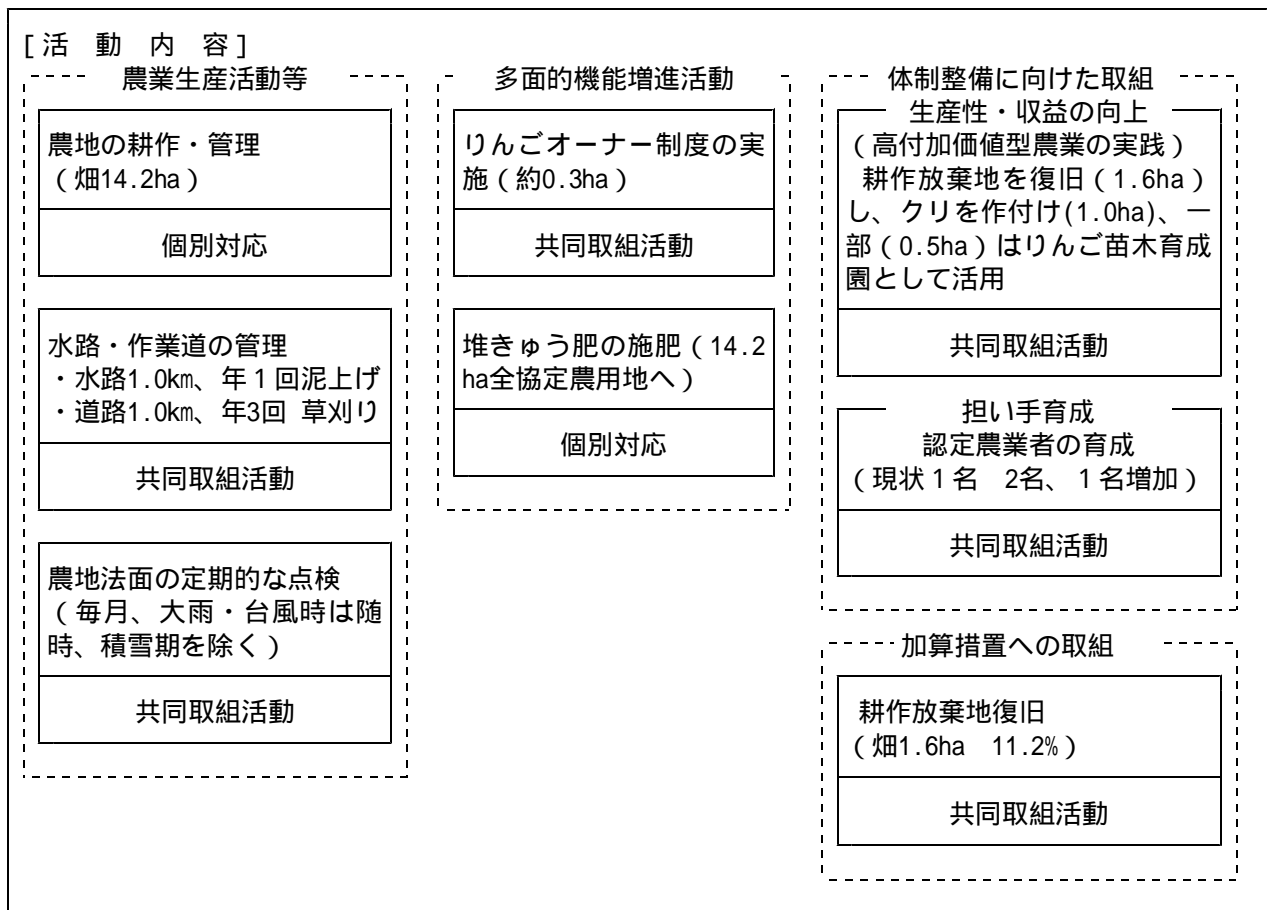
農用地保全マップは、重点地区を書き込み、定期的な巡回を行い未然に崩壊等を防止することとしている。また、耕作放棄地を復旧する農用地を明確化し、クリ等を作付けすることとしている。



オーナー制度を実施するりんご園



復旧した耕作放棄地にクリを作付



↑↓

集落外との連携
りんごオーナー制度を福井県民生協会員と連携して実施

3. 取り組むべき事項の活動内容

前対策で取り組んだりんごオーナー制度継続して実施するとともに、耕作放棄地(1.6ha 協定農用地面積の11.2%)を復旧し、クリ等の新規作物を作付けし、高付加価値型農業の実践を行うこととしている。

担い手育成の取り組みとしては、認定農業者1名増加する取り組みを行うこととしている。

さらに、協定農用地の周辺に学校給食等にも導入されている「黒房すぐり」を植栽することとしている。

[平成21年度まで取り組む目標]

- 耕作放棄地の復旧(クリ園・りんご苗木育成園1.6ha)
- 高付加価値型農業の実践(新規導入作物:クリの作付け。約1ha)
- 福井県民生協会員と連携してりんごオーナー制度の継続実施(約0.3ha)
- 堆きゅう肥の施肥(全農用地、個別対応)
- 協定農用地の周辺に黒房すぐり(カシス)の植栽
- 認定農業者の増加(現在1名 目標2名、1名増加)